

勝林寺報

一不二信萬法無能  
一生造惡值弘誓  
至安證界証妙果  
像末法滅同此

今年は四月以来お葬式をせずに過ごしました。しかし、九月に入つてから急に五人の方が亡くなられ、どの方とも長らく一緒にお念佛を頂いたことがあります。寂しく、心細い気持ちが募っています。時に戦地に出られた方でした。おそらく勝林寺の門徒の中に出征経験のある方はこれでいらっしゃらなくなつたのだと思います。ここ数年で、日本の中には出征経験者が誰もいなくなるのでしょうか。大きな時代の変化を感じます。すべてのものが時とともに変化していくことはこの世の常で、国も社会もお金も人も、みんな変わってしまいます。お釈迦様の教えでも時とともに変容し、すたれていってしまうと教えられました。そんなうつろな世界の中で、たしかな眞実に出会えることができるのが淨土の教え、称名念佛の道です。

つしやらなくなつたのだと思います。——数年で、日本の中には出征経験者が誰もいなくなるのでしよう。大きな時代の変化を感じます。すべてのものが時とともに変化していくことはこの世の常で、國も社会もお金も人も、みんな変わつていいります。お釈迦様の教えすらも時とともに変容し、すたれていつてしまつと教えられました。そんなうつろな世界の中で、たしかな眞実に出会えることができるのが淨土の教え、称名念佛の道です。

道綽禪師は日課として七万遍の念佛を称えられたのだそうです。一時間に三千回、一分間に五十九回、多少は寝ることも考えれば、毎秒念佛

時代は変わり、ますます先の見えない末法瀬  
世、混迷の世の中となつてきましたが、そうであ  
ればこそ、一生涯惡を造りにつくつて生きた  
人生の中で、ただ称名念佛し、仏の願いに出遇  
い、安養の淨土に生まれさせていただき、仏の  
悟りを開かせていただくお念佛の道を道綽禪師  
は教えてくださったのです。（文責 住職）

「三不信」でない「三信」が、天親菩薩の「一心」であると、墨鸞大師は教えられたのです。墨鸞大師が述べられた「三不信」の反対側、つまり「三信」について、道綽禅師が『安樂集』のなかで、自力の信心が「三不信」であるのに対して、他力の信心は、純粹で混じりものがなく（淳心）、ふたごころがないて散乱することなく（一心）、一貫して持続する（相続心）と教えられています。

大切であるとされています。この心の反対が「不信」で、「不淳の信心」「不一」の信心「不相続」の信心」とされました。「不淳」は、信心が純粹ではなく、あるようにも見えるけれども、実はないに等しい信心です。だからその信心は「不一」なのです。自力のはからいが入り混じっていて、徹底していない信心です。したがって、そのような信心は、「不相続」なのです。徹底していないから、信心が持続しないのです。このような

2報告

十月六日、歴代住職の三回忌および

親戚の皆様列席の中、厳かにお勤め

十一月 勝林寺 予定  
一日(金) 山田美佐子宅 一二回忌

二 二 日 (土)	TM 音楽会
三 三 日 (日)	光顯寺 報恩講
四 四 日 (月)	立脇やよい宅 慶明法要
九 九 日 (土)	宮嶋重喜宅 七回忌
一〇日 (日)	湯口孝司宅 三回忌
一一日 (月)	出石・但東仏教會 三役会
一一日 (火)	中島茂喜宅 一周忌
一四日 (木)	西方寺 報恩講
一五日 (金)	福成寺 報恩講
一六日 (土)	おみがき 清掃奉仕
一七日 (日)	岩出みつゑ宅 三回忌
一九日 (火)	斎藤貴明宅 忌明法要
二〇日 (水)	森戸 宅 忌明法要
二一日 (木)	勝林寺 報恩講
二二日 (金)	勝林寺 報恩講
二二日 (土)	本覚寺 報恩講
二五日 (月)	正法寺 報恩講
二六日 (火)	真覚寺 報恩講
二八日 (木)	佐田・栗尾 報恩講
二九日 (金)	田殿・保谷 奥小谷 報恩
三〇日 (土)	湯口博文宅 一周忌



## イスラム教・キリスト教・仏教

せんたつてのイラク戦争は、一応は終結しましたが、どうか、たいへん心配なことです。

この戦争は、すでにいわれているように、キリスト教とイスラム教の戦争でもありました。このキリスト教とイスラム教は、ともにユダヤ教にもとづき、六世紀の頃に、キリスト教から分かれて生まれたものが、イスラム教です。だから両者は兄弟の関係にあって、その教義はよく似ています。

その第一は、「この地球も人間も、すべては神が創造したものだと考えます。そして第二には、そのゆえにこの世界と私たちの人生は、すべて神によって支配されているといいます。そして第三には、そのゆえにこそ、私たちは神の心にしたがって生きることが大切だと教えます。そして第四には、私たちはやがて死んだのち神の審判を受けて、神の心によくしたがって生きたものは天国に生まれ、そうでないものは地獄におちると教えます。

ただキリスト教では、その神の心に愛が強いことを語り、それに対してイスラム教では、その神の心のきびしさを語って、それにひたすら服従せよと語ります。イスラムという言葉は服从ということを意味します。そして今日のイスラム教では、神の意志とは、そのまま国家を統治するものの意志だと解釈しますから、イスラム教は政治的には強大な力をもっています。先年ニューヨークの高層ビルに、飛行機を乗つ取つて自爆した青年たちが、イスラム教の信者であつたことは有名なところです。

このように、キリスト教とイスラム教は、その神についての解釈はいささか違いますが、どちらも一神教で、自分たちの神こそが正義だと信じていますから、このたびのイラク戦争のよ

うに、両者の神と神との闘いはいままであります。たわけで、これからもまた続いていくことでしょう。

それに対して、仏教が説くところはまったく違います。仏教では、世界を創造したり支配するような神は語りません。この世界の仕組みは、人間と人間、人間と動物、人間と自然が、深くつながり、相より相たすべきあってこそ成り立ち、動いているといい、すべての存在は、お互いに、他者を尊重しつつ、仲良く生きていくことを教えます。だから仏教の歴史では、戦争をしたといふことは、ただの一度もありません。

これから、もつともつと、世界の人々に、この仏教が伝わっていくよう、心より願わざりはおれません。(2003.5)

(信楽修磨遺稿法語集より引用)



## 法語カレンダー十一月 真の知識にあらへよ

かたさかなにまわかた

どすん

よく忘れます。忘れてちょいちょいあります。困る」と迷惑をかけることも度々です。その中で

番困るのは、「( )み出し」を忘れる

ことです。言い訳しますが、「今日

は( )み出しの日」ということは忘れていませんよ。出す( )みを用意してちゃんと玄関まで出します。うちの区は一番の収集なので八時山での自力の難行と訣別して、本願の教えに帰入されました。そのときの喜びは、どれほどの

ものであつたでしようか。

親鸞聖人において、もし本願を説かれた釈尊

の教えに遇うことがなかつたならば、そして、その教えを受け継がれた七高僧の方々、なかでも、本願の真実を直接教えてくださつた、善き師・法然聖人との邂逅がなかつたならば、本願の教えを聞くことも信ずる身にもなつていなかつたであろう。「いくたび人生を重ねたとしても、本願に遇う縁を恵まれる」とはむずかしく、たとえ気の遠くなるような時間を経たとしても、真実の信心を獲得することは困難な私であった。またま法然聖人との邂逅を通して、本願に遇つたときを獲得されたとき、それが遠く過去から

の様々な因縁によるものであつた」と『教行信証』総序に記されています。親鸞聖人は、法然聖人に対して、人間・法然聖人ではなく、阿弥陀さまの化身として、あるいは還相の菩薩として、この世に現れてくださつた方という受け止めをされています。仏教の世界でいう善き師とは、「真の知識」と表現される人であり、それは心の底に真実を見据えている人であり、うそや

まかしがきかない、また厳しくもあり優しくある人です。しかも、善き師に遇うとは、「法」に裏付けられた「その人」に遇うといふことです。一生に一人でも善き師「真の知識」に遇えた人は、真実の教えに目覚めた人でもあります。

（「月々の( )どば」より抜粋）

よく忘れます。忘れてちょいちょいあります。困る」と迷惑をかけることもあります。困る」と迷惑をかけることも度々です。その中で

番困るのは、「( )み出し」を忘れる

ことです。言い訳しますが、「今日

は( )み出しの日」ということは忘れていませんよ。出す( )みを用意してちゃんと玄関まで出します。うちの区は一番の収集なので八時山での自力の難行と訣別して、本願の教えに帰入されました。そのときの喜びは、どれほどの

とカラスの被害にあうのです。だから、八時五

分前に出したいんです。しかし、それを忘れま

す(涙)「あーあ」「また忘れたー」・落胆しな

がら思い出したことがあります。私の実父は、筋金入りの忘れん坊でした。当時、養鶏をして

いました。そのついでに、母や祖母に

「〇〇買つてきて」とよく頼まれるのですが、

買って、一〇畳ほど離れた京都府の町に卵を卸し

に行つていました。そのついでに、母や祖母に

「〇〇買つて」とよく頼まれるのですが、

買つてくるのはまあまあ三~四回に一回。いつ

も「また忘れたんか」とあきれられていきました。

そこで、母たちは考えました。どうしても忘れ

てもうつては困るときには、父の左手の小指に

ひもを結ぶのです。ちょっとした拍子にそのひ

もを見て「ああ〇〇買つて帰るんだ」と思い出

してくれるから。効果はテキメンでした。で、

私も、ごみを出す用意をした後に、指に輪ゴム

を巻くようにしてみました。すると、これまた

効果テキメン!・でも、筋金入りの忘れん坊

の娘は、輪ゴムを巻くのを忘れます。DNAは海

れません(笑)「なん」とを、あれこれ考えて

いるとき、ふと「私には、忘れてはいけないの

に忘れている大事なことがある」と気がつきま

した。それは「私も死ぬ」ということでした。

忘れないように腕輪念珠をつけようと思い立ちました。今まで、外に見せるものと思つてい

た腕輪念珠が自分のためのものになりました。